

VI 校内研修

1. 研究主題について

1. 研究主題

数学的な思考力・表現力を育てる学習指導の工夫

～既習を生かし進んで問題に取り組む算数科の授業を通して～

2. 主題設定の理由

①学習指導要領算数科から

算数的活動を通して、数量や図形について基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる。

今回の改訂で「算数的活動のより一層の充実」「表現する能力の育成」「活用することの重視」があげられている。児童が新たな性質や考え方を見出そうとしたり、具体的な課題を解決しようとしたり目的意識を持って主体的に取り組む姿が求められている。そうすることで、数量や図形の意味を実感としてとらえたり、思考力、判断力、表現力等を高め、算数を学ぶことの楽しさや意義を実感していったりするとある。

また、児童が具体物を用いたり、言葉、数、式、図、表、グラフなどを用いて、自分の考えたことを表現したり、友達に説明したりする学習活動を取り入れることが重要とされている。

児童が進んで問題に取り組み、思考力・判断力・表現力を身につけ、知識・技能を活用する力を本研究を通して、育てていきたいと考える。

②鴨川市学校教育指導の重点から

「鴨川市学力向上プラン」では、9年間を見通した教育活動の展開により、学力向上を目指すことが掲げられている。その中で算数・数学科では「ものごとを数理的にとらえ、見通しをもち、論理的に考えたことを表現し合い、お互いに学び合っていくことができる児童生徒の育成」とある。小学校からの学び合い、広め深め合う学習経験が積み重ねられていくことで、中学校での数学教育においてなめらかに接続されていき、確かな学力が図れると考える。

③本校の教育目標から

夢に向かって「かしこく・やさしく・たくましく」生きぬく子ども達の育成
元気いっぱい・やさしさいっぱい・笑顔いっぱいの江見小

本校の教育目標の「かしこい子」(確かな学力の向上:知)を目指し、「基礎的・基本的な知識・技能の習得(学びタイムの充実)」「知識・技能を活用し、思考力や判断力、表現力の育成(問題解決学習・体験学習)」「指導目標の明確化と指導方法の工夫改善(目標に応じた授業構成、展開等の工夫)」等を具現化の方策としている。児童が確かな学力をつけていくために知識力・理解力の定着と思考力・判断力・表現力を育てることの両輪がバランスよく回っていくように目指すものである。そのためには、日常的に継続した繰り返し学習を行っていくことと目標を明確にした本主題の授業を行っていくことで学校教育目標が示す児童の姿を実現していきたいと考える。

④児童の実態から

昨年度実施した県標準学力検査の結果から「算数的な考え方」への課題があることが分かった。理由としては、問題の内容が正確に読み取れていないこと、提示されている図を活かして考えられないこと、いろいろな問題に対応できないこと、また苦手意識を持っている児童が多いことがあげられる。そこで児童が主体的

に問題を解決しようという意欲を持ち、これまでの生活体験、既習事項を生かして自分なりの考えを表現できるように本研究を進めていくこととする。

3. 研究目標

- ①数学的な思考力・表現力を育てる学習指導の工夫について算数科の授業実践を通して探る。
- ②要請訪問を行い、「数学的な思考力・表現力を育てる指導」について学ぶ。

4. 研究内容

- 理論研修
- 知識・技能習得のための取り組み
- 思考力・表現力を育てるための一人一授業実践
- おすすめ指導法紹介

5. めざす児童像

低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して、体験や経験をもとにして考えられる子 ・具体物の操作や絵・言葉・式・図などを用いて、答えを求められる子 ・自分の考えを話せる子 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題に応じて、思考を整理する図(言葉・絵・式)などをかける子 ・問題文から「分かっていること」「聞かれていること」「答えの単位」が分かる子 ・自分の考えを友達の考えと比べながら話せる子 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を手がかりに問題解決できる子 ・問題の条件を整理して考えられる子 ・自分の考えを筋道を立てて説明できる子

6. 研究仮説

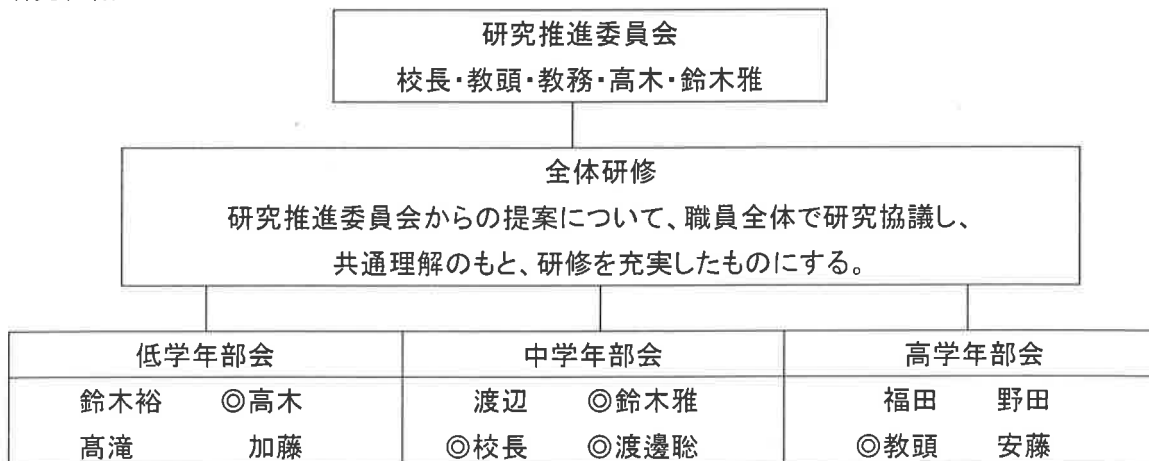
仮説1

問題把握時に(「見出す過程」で)素材提示の工夫をすれば、児童が意欲的に問題に取り組み、自分の考えを持って授業に取り組むだろう。

仮説2

自力解決の過程で(「調べる過程」で)考えを「引き出す」支援をすれば、課題解決の糸口が見つかり、自分の考えを持って授業に取り組むだろう。

7. 研究組織



8. その他

<授業研究について>

○全体授業研究会…それぞれのブロック内で1展開は要請訪問の形で行う。

- ・指導案は細案
- ・指導案を全体研修で検討
- ・全職員で参観し、協議会を行う。

要請訪問(9月) (12月)

○ブロック授業研究…それぞれのブロック内で要請訪問以外の授業展開

- ・指導案は略案
- ・全体研修の際、指導案の紹介
- ・ブロックメンバー、可能な職員が参観 批評箋記入
- ・全体研修でまとめて協議

<日常指導について>

○チャレンジプリントの実施

各学年20種類程度の内容のプリント

○百マス計算

○「朝自習の時間、学びの時間」の活用 複数体制での指導

水曜日…計算など基礎基本 金曜日…思考を要する問題・個別指導

(学担)

(学担・学担以外の先生)

1年:間宮 2年:加藤 3年:山田 4年:渡邊聡美 5年:校長 6年:教頭

<おすすめ指導法紹介>

○これまでの指導経験から「おすすめの指導法」を紹介し合う(夏休み中の研修などで)

<算数科以外の研修>

○特別支援関係(安藤・高滝)

○道徳研修(講師を招聘)

9. 研修計画

学期	月	日	曜	形	内 容	備 考
1 学 期	4	1	金	推	昨年度の研究報告 今年度の見通し	
		28	木	全	研究の全体構想 研究主題 ノート指導について	
	5	12	火	全	学力向上プログラム 児童の実態	
		19	木	全	研究仮説について 研修計画	
	6	2	木	全	道徳研修（要請訪問）	
		9	木	全	めざす児童像・手立て	
		16	木	全	算数理論研修（要請訪問）	
		23	木	全	研修の方向性について	
	7	7	木	個	個人研修	
		14	木	個	個人研修	補助簿提出
8	27	水	全・グ	指導法紹介・指導案検討		
	8	月	全	指導案検討① 1		
2 学 期	9	8	木	全	指導案検討②	
		15	木	全	指導案検討③	
		26	木	全	授業研究会（要請訪問）	
	10	6	木	個・グ	授業実践プラン作成	
		13	木	全	授業実践プラン報告	
		20	木	個	個人研修	修学旅行
		27	木	個	個人研修	宿泊学習
	11	10	木	全	特別支援研修	
		17	木	全	授業実践の反省	
		24	木	全	指導案検討 2	
12	1	木	全	指導案検討 3		
	5	月	全	授業研究会（要請訪問）		
	8	木	個	個人研修	9日授業参観	
	15	木	個	個人研修	補助簿提出	
3 学 期	1	12	木	全	研修計画・紀要作成について	
		19	木	全	教育課程の検討	
		26	木	個	紀要作成	
	2	2	木	個	紀要作成	入学説明会
		9	木	全	教育課程の検討	授業参観
		23	木	個	学力検査処理	
	3	2	木	全	成果と課題について	7日送る会
		9	木	全	紀要製本	